

事務事業名	市民健康づくり事業	整理番号	21101-010
所 管	健康福祉部 健康推進課		

事務事業の位置付け

期間	平成18年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	健康増進法
基本計画における位置付け	基本政策	2-1 心身の健康づくり	関連政策
	政 策	2-1-1 健康づくり活動の促進	

事務事業の内容

目的 (何のために)	市民一人ひとりが生活習慣病予防、健康増進等、健康に関しての正しい知識を身につけ、「自分の健康は自分で守る！」という意識と自覚を高め、食生活の改善や運動習慣を身につけるきっかけとする。
対象 (誰・何を)	市民
手段 (どのようなやり方で)	健康教育、相談、食育・啓発により生活習慣、食生活などの改善等を促し、健康づくり推進大会など様々な機会に市民へPRしていく。
成果 (どのような状態にしたいか)	生活習慣病予防、健康増進等を図るため、運動を日常生活の中に取り入れるなど、健康に関して正しい知識を身につけるとともに、自分のものとする。
事務事業の背景・住民の意向	健康の大切さが理解され、健康への関心が高まってきている。
見直し改善の経過	他の事業との連携や身近なところで体験できるような工夫をしていく。

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)
平成16年度		
平成17年度		
平成18年度	健康づくり推進大会 389人 (健康ウォーキング、ベタボード、スカイクロス、健康相談、栄養相談、新体力テスト)	

評価指標

<p>参加者1人当たり経費(円)</p>		
----------------------	--	--

事務事業の評価

観点別・一次評価(担当部署の評価)		コメント	
観点別評価	必要性	市民一人ひとりが生活習慣病予防、健康増進等、健康に関しての正しい知識を理解し、自分自身の行動を変革させ生活改善や運動習慣を身につけて実践していくことは、市民の健康生活を助長していくことにつながり、結果として医療費の抑制にも貢献することになる。	今後の方向性
	有効性		手段改善
効率性	一次評価		
二次評価(行政評価委員会の評価)		コメント	
二次評価	B	関連部署と連携し、更なる充実を図ると共に、規模、回数等を検討されたい。	今後の方向性 拡大

改革プラン

平成19年度からの対応	事業の中心が、イベントになっているので大勢の市民が集まる他の事業との連携を模索する。 【例】わくわくフェスタなどとの連携
平成20年度以降の対応	身近な場所での開催も重要なことなので、市内6地区の地区広場等を会場としたり、地元の体育振興会等とも連携したりローテーション方式による実施方法などの研究。
改革により予想される成果	本事業を改革、見直しつつ展開していくことで「自分の健康は自分で守る！」という意識と自覚が高まり、食生活の改善や運動習慣を身につけるきっかけとする市民が増加する。